

## 第47回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

### 【開催概要】

日 時 令和7年6月2日(月) 13時30分～14時30分

場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室

出席者 20名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	嘱託教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斉	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	○
広島県旅客船協会	専務理事	迫田武利	○ (web)
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	○
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	閑田大祐	○
大崎上島町議会	産業建設常任委員会委員長	赤松良雄	○
大崎上島町連合区長会	副会長	桑原富生	○
大崎上島町商工会	会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	○
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太(副会長)	○ (代理：小林弘志)
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	大林正明	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	蔦 真	○
広島県地域政策局	公共交通政策課長	水本全彦	○ (代理：柴田益良)
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	平田和也	○
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	○
大崎上島町	地域経営課長	三村竜也	○
大崎上島町	建設課長	下川 昇	○

傍聴者 0名

## 【議 事】

### 1. 開 会

＜事務局より開会宣言＞

### 2 あいさつ

＜小田会長あいさつ＞

### 3 委員紹介

＜事務局より委員の紹介＞

### 4 議 題

#### (1) 報告事項

##### ①令和6年度事業報告について

事務局	＜資料説明＞
議 長	ただいまの事務局からの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
委 員	おと姫バスのことですが、ある回漕店を管理している方から相談されたのですが、観光客の人が来たときに定時のバスの便が無くて、デマンドバスは先に登録をしていないと予約が取れないというところで使えず、回漕店の管理者さんが自分の車で連れて行ってあげたというような苦情を受けました。もう少し、何らかの改善を考えていかないといけない。
事務局	デマンドバスの利用者登録については5分ほどで登録は完了するのですが、島外から来られる人に対しての周知方法などをもう一度見直ししながら、検討させていただきます。ありがとうございます。
委 員	路線バスは、主に県道を走っていると思うのですが、先ほどの説明から町道を経由するバスの利用者が、さんようバスに流れているのではないかという憶測もあります。それがどうなっているかということ、デマンドの予約が集中して取りにくいところがあるので、元々車両が4台しかないから、対応は難しいところがあるので、例えば学生利用だったら、何人か一緒にまとめてもらうとかの調整をしながらやる方法とか、利用してもらうのは良いことですが他の人が利用できないという声もあるため、全部を調べていないですが、その辺を効率的に学校側と話し合いをしたらどうかと思います。
事務局	他からも似たような声を聞いております。この4月から始まったばかりであり、これから色んなところへ周知していくとか、利用しながらどういった方法がよいか、様子を見ながら事業者さんと調整して、結果を見ながら検討していきたいと思っております。
委 員	予算の部分ですが、先ほど説明があった明石小長のフェリーの件について、お話はわかっているのですが、昨年の時点での呉市の負担がどれくらいになっていますか。
事務局	呉市の負担金は、令和4年度が3,900万円、令和5年度が3,800万円となっています。
委 員	先ほどと同じような話になりますが、あえて学校の名前は出しませんが、住民の方から「デマンドバスを予約しようと思ったらいつも、その生徒で満員になり取れないんで

	す。この状況を何とかしてもらえませんか」と言われたのですが、実際はどのようなのでしょうか。
事務局	その学校の生徒かどうかわかりませんが、時間帯により予約が集中してる状況がデータ上、見受けられます。だからといって、ここへ全車両を持って行くとすればドライバーさんの勤務時間との兼ね合いもあり、調整が必要になります。この運用が4月から始まり2ヶ月ほど経りましたが、今後状況を見ながら、事業者の方とも相談したいと思っております。
委員	本来、一つの学校や生徒で利用が集中し、独占してしまうようであれば、本来の公共交通機関として役割がなくなってしまうのでぜひ検討をよろしくお願いします。
委員	おと姫バスの運行実績のグラフについてですが、今年の4月と昨年の4月を比べると利用者数がかなり落ちています。事務局に伺いますが推測がつくような理由はありますでしょうか。
事務局	先ほど少し説明でも触れましたが、この令和7年4月については、運行と時刻表の見直しを行っており、路線型のおと姫バスの運行も大きく見直しをしています。そのため、どうしても数が少なくなってしまうっております。この部分については、路線型のさんようバスの実績が800人程度増えていると、さんようバスから伺っております。実際はその800人を加えたイメージで、おおよそ横ばいで推移していると分析しております。
委員	「さんようバスへ800人動いた」というのはバスのベースの数のことですか。定期路線利用者に変化があったということでしょうか。
事務局	定期券などの利用者は横ばいで、単純に一般の乗客が800人ほど増えたということで、ここの分析としては、今までデマンドを使っていた方々が、料金を200円に戻しましたし、路線バスは100円で、時刻も人が使いやすい時間帯に変えて組んでいただいておりますので、それにより今までおと姫バスを使っていた800人の利用者の方が、さんようバスに流れたようなイメージです。
委員	オンデマンドの台数が増えているということですよ、2台から4台になったのでしょうか。利用者数としては60人ぐらい増えたという効果があるという捉え方でしょうか。
事務局	まだ4月の運行開始から1ヶ月しか走っておりませんので、分析としては1ヶ月しか抽出できておりません。今後増えていく時期によっては、夏に増えたりとか帰省で増えたりとか、いろいろ想定があるとは思いますが、今の時点では減ったというお答えも難しい状況です。
委員	デマンドバスは4台になったということですね。
事務局	はい、その通りです。運航可能な台数が増加したということです。
委員	2台が4台になって輸送能力が倍になっているということでしょうか。
事務局	はい、その通りです。
議長	まだ1ヶ月程度なので、正確なことは申し上げられませんが、これまで定時定路線で運行していたおと姫バスを利用されていた方が、さんようバスのほうへ移行したのではないかと、という想定がされてると理解しました。

議長	その他無いようですので、本件については終了いたします。
----	-----------------------------

### ②令和6年度交通対策事業実績・令和7年度予算について

事務局	<資料説明>
議長	ただいまの事務局からの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
委員	竹原フェリーバスの欠損額についてですが、最初に赤字連絡を受けて補助をスタートした当初は50万円ぐらいだったと思います。それからいうと、令和6年度は280万円、今年度については400万円近い見込み額となっています。このままズルズルいっていいものかと思いますが。
事務局	年々増加しており、おそらく竹原市さんも、その辺を危惧しているところだと思います。今の利用者が、どちらかというと島内の人の方が多いと想定されますので、うまく交渉しないと町の割合が増えるなど、こじれた話になったらいけないので、増加はしていますが本格的に見直しというか、そういった話までは行ってないのが現状です。
委員	そういった話になっていませんか。
事務局	正式にはしておりません。
議長	10倍近くということで心配であるかと思いますが。その他、無いようですので本件については終了いたします。

### ③大崎上島町地域公共交通計画に係る目標の評価指標達成状況について

事務局	<資料説明>
議長	ただいまの説明について、どなたかご質問ご意見等ございませんでしょうか。
各委員	<意見なし>
議長	無いようですので、本件については終了いたします。

### ④スマート海上バス「ゆき姫」試験運航結果及び令和7年度計画について

事務局	<資料説明>
議長	ただいまのご説明について、どなたかご質問ご意見等ございませんでしょうか？
委員	1,000円の内訳ですが、現金とPayPayどれくらいの割合でしたか。
事務局	内訳については確認できておりません。
委員	ちなみにPayPayで払ったときの手数料はこの1,000円から引かれるのでしょうか。
事務局	おっしゃるとおりです。
委員	仮に、何人ぐらいからペイできるというか運航できるのでしょうか？
事務局	実際のところ、実績は80名程度でございました。単純に計算しましても1,000円という収入で、さらに運航コストは多大でありますので、これをペイできる、持続可能な公共交通にするというのも課題でもあると思っております。
委員	試験運航なのであれば、支払可能な金額が2,000円以上という方は34.3%ですが、2,000円以下の方も4割を超えています。このあたりの方が納得というか、金額の平均ぐらいのところ、例えば1,500円ぐらいにすれば、乗ってくれる人が増えそうですし、2,000

	円にすると、それ以下を希望する層が離れるのではないかと思うのですが。
事務局	金額の平均も1,730円ほどで、1,500円にするか2,000円にするかという話は事務局でもありましたが、まだ全然詰めていません。仮に2,000円として本日の資料とさせていただきます。委員が言われることも十分承知しておりますので、これから事業を進めていく中で、金額設定も検討していきたいと思っております。
議長	その他、無いようですので本件については終了いたします。

## (2) 協議事項

### ①令和6年度収入支出決算について

事務局	<資料説明>
議長	令和6年度の収入支出決算につきまして、規約の第13条にありますように、監査委員より監査についてのご報告をお願いします。
委員	<監査報告>
議長	ご質問などありましたらお願いします。
各委員	<意見なし>
議長	それでは事務局の説明の通りでご了承いただいたということでよろしいでしょうか。
各委員	<異議なし>
議長	それでは、ご了承いただいたということで本件については終了いたします。

### ②令和7年度収入支出予算（案）について、③令和7年度事業計画（案）について

事務局	<資料説明>
議長	予算に続いて事業計画について説明いただきました。何かご質問等はございませんでしょうか。
各委員	<意見なし>
議長	無いようでしたら、令和7年度予算及び事業計画についてはご了承いただいたということで本件については終了いたします。

### ④地域公共交通計画（第2期）の策定について

事務局	<資料説明>
議長	ただいまの事務局からの説明について、ご質問等はありませんでしょうか。
委員	<p>地域公共交通計画策定について、ご質問とお願いをさせていただきたいと思えます。まず質問ですが、この交通計画の策定にあたって、業者に委託してアンケート調査等を実施するのか、そういった方向性がもし分かれば教えていただきたいです。</p> <p>もう一点ですが、国土交通省では令和7年4月ごろに、地域公共交通計画を作るにあたって、参考となるガイダンスを定めています。その中では、地域の課題等について、多様な地域の関係者としっかり連携をしながら議論を進めていただきたいというところがございます。まさにこの交通会議のメンバーは、多様な関係者の方がご参加いただいておりますので、皆さんでしっかりご議論をいただいて策定を進めていただければと思い</p>

	ます。
事務局	地域公共交通計画につきましては、先ほどご承認いただいた、地域公共交通計画事業策定業務として、委託で実施する内容となっております。
議長	その他、無いようですので本件については終了いたします。

### (3) その他

議長	その他について何かございませんでしょうか。
事務局	事務局からよろしいでしょうか。明日から6月議会の常任委員会が開催されます。この中で企画課に対し、デマンドバスの状況について質問が出ております。本日配付・説明させていただいた配布資料の一部を抜粋して、デマンドバスの説明をしたいと思えます。議員さんのいろいろな意見があろうかと思えますので、そういった意見はこの協議会に持ち帰り、皆様で議論していただければと思えます。その際は、よろしく願いいたします。
議長	よろしいでしょうか。それでは他にご意見がなければ、本日の議事は以上となります。

## 5 閉会

以上